

2024年5月28日

各位

会社名 株式会社アイリックコーポレーション  
代表者名 代表取締役社長 勝本 竜二  
(コード番号：7325 東証グロース)  
問合せ先 取締役管理本部長 相原 尚昭  
(TEL 03-4589-6384)

### 2024年6月期 第3四半期決算 質疑応答集

2024年5月15日に公表した当社の2024年6月期 第3四半期決算に関し、当社で想定しておりました質問および株主・投資家の皆さまより頂戴したお問合わせと感想につきまして、その内容と回答を以下の通りお知らせいたします。本開示は市場参加者のご理解を深めることを目的と実施するものです。ご理解いただきやすいよう、一部内容の加筆・修正を行っております。

Q:売上高は計画をやや上回る着地でしたが、営業利益は従来予想を大幅に超えており3Q時点でほぼ通期業績達成の水準に到達しています。通期予想を据え置いた理由について教えてください。

A:大型案件が前倒しとなったこと等により第3四半期時点で好進捗となりました。第4四半期で全社的な人的投資や一部事業における来期以降の更なる事業成長に向けた先行投資を予定していることから、通期業績予想は据え置きといたします。なお、今後の業績動向に応じて、業績予想に修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

Q:売上総利益について、増減率・額ともに大きく伸びていますが、売上高に占める割合は前年同期84.4%、今期78.4%とやや減少しています。理由を教えてください。

A:第2四半期から連結対象となった株式会社ライフアシストのビジネスモデルは、売上原価が多く計上され、原価率が当社より高いためです。訪問販売社員が多数在籍していますが、売上歩合の給与が売上原価に計上されるため、売上が伸びると売上原価も伸びる傾向にあります。

Q:FCの店舗数はほぼ横ばいで推移していますが、今後の展開について教えてください。また、FC店の直営店化は積極的に進めていくのでしょうか。

A：FCに関しては今後も積極的なリクルートを進める方針に変更はありません。その中でスクラップアンドビルドは必要であると認識しております。また、FC店の直営店化は案件発生の都度慎重に検討を進めております。

Q：システム事業はスマートOCRの売上が順調に拡大しているようですが、受託開発については案件の進捗などいかがでしょうか。昨年に比べて大きく減少している点が気になります。

A：2023年6月期は大型の受託開発案件があり、大きく積みあがりました。一方で、当社はフロー収入となる受託開発よりも安定的なストック収入源となるスマートOCRに注力をしており、こちらは前年同期比で約1.7倍の伸びとなっています。また、スマートOCRに関する受託開発業務はスマートOCRとして計上しているため、システム事業全体としての売上は順調に拡大していると認識しております。

Q：コスト構造について教えてください。また、原価等の仕入れ値が上がっているものについては、提供価格に転嫁する等の対応ができていますでしょうか。

A：保険販売事業は人件費、店舗の賃料及び広告費、ソリューション事業は、人件費、広告費、及びサーバー費用、システム事業は人件費、サーバー費用がそれぞれ主なコストになります。円安や物価高に伴うサーバー費用等、また人件費上昇に伴いコストが上昇していますが、他の販売及び一般管理費のコスト削減に取り組んでおり、提供価格への転嫁は現状では進めておりません。今後、提供しているシステム価格の改訂も含め検討してまいります。

以上